

2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白石 直己
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 清水 克訓 (TEL) 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	149,057	5.2	6,641	29.9	8,674	90.0	5,231	293.8	2,774	509.4	6,964	266.7
2021年3月期第3四半期	141,674	8.7	5,111	22.2	4,565	10.3	1,328	△7.3	455	△58.7	1,899	166.4
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第3四半期	187.20		—									
2021年3月期第3四半期	30.72		—									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり 親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	184,043	91,563	79,238	43.1	5,347.35
2021年3月期	189,178	85,763	76,028	40.2	5,130.72

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2022年3月期	—	36.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	40.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	0.9	8,800	141.7	8,800	129.3	5,100	—	4,100	—	276.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) アラバマ・カルマン・ユ
タカ・テクノロジーズ・
リミテッド・ライアビリ
ティ・カンパニー

(注) 詳細は9ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年3月期3Q	14,820,000株	2021年3月期	14,820,000株
2022年3月期3Q	1,824株	2021年3月期	1,824株
2022年3月期3Q	14,818,176株	2021年3月期3Q	14,818,224株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内では緊急事態宣言の解除により経済活動の制限が緩和され、個人消費が回復したことにより緩やかに持ち直し基調となりました。

一方、海外では、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の出現により感染拡大が徐々に広がりを見せ不安視されています。米国は雇用の改善や賃金上昇によりサービス消費を中心に堅調に推移しました。中国では景気減速をもたらした電力不足が緩和する方向にあり、製造業の生産は回復へ向かい景気は持ち直し基調となっています。

経済環境が回復基調となる中、世界の自動車業界では半導体不足の影響や東南アジアからの部品供給の滞りが長期化しており減産・生産調整が相次いでおります。新たな変異株による感染再拡大や原油高、資源高などエネルギー不足も背景に先行き不透明な状況です。

このような環境の中、当社グループは、半導体供給不足に伴う顧客からの受注減はあったものの、新型コロナウイルス感染症からの回復による顧客からの受注増に加えて、日本において前期での固定資産減損損失計上に伴い償却費負担が減少したことにより、売上収益は、1,490億5千7百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益66億4千1百万円(前年同期比29.9%増)、税引前四半期利益86億7千4百万円(前年同期比90.0%増)、四半期利益52億3千1百万円(前年同期比293.8%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益27億7千4百万円(前年同期比509.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

半導体供給不足に伴う顧客からの受注減影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症からの回復に伴う顧客からの受注増や海外からの収入増、更には前期の固定資産減損損失計上に伴い償却費負担が減少したことにより、売上収益280億8千6百万円(前年同期比1.5%増)、営業損失8億6千3百万円(前年同期は営業損失26億7百万円)となりました。

(北米)

新型コロナウイルス感染症からの回復に伴う顧客からの受注増はあるものの、半導体供給不足に伴う顧客からの受注減影響により、売上収益221億9千6百万円(前年同期比2.3%減)、営業損失18億1千8百万円(前年同期は営業利益1千8百万円)となりました。

(アジア)

半導体供給不足に伴う顧客からの受注減影響はあるものの、主にインドネシアとタイにおいて新型コロナウイルス感染症からの回復に伴う顧客からの受注増により、売上収益167億4千8百万円(前年同期比42.3%増)、営業利益8億9千9百万円(前年同期は営業損失5億7千1百万円)となりました。

(中国)

顧客からの受注増により、売上収益920億6百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益85億8千7百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

(その他)

イギリスの工場閉鎖に伴う売上収益の減少により、売上収益は27億6千9百万円(前年同期比25.2%減)、営業損失5千5百万円(前年同期は営業損失1千3百万円)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に棚卸資産の増加はありましたが、現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権の減少により、前連結会計年度末に比べ51億3千5百万円減少し、1,840億4千3百万円となりました。

負債につきましては、主に営業債務及びその他の債務が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ109億3千5百万円減少し、924億8千万円となりました。

資本につきましては、主に利益剰余金及び非支配持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ58億円増加し、915億6千3百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は192億円(前年同期末比37.2%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は86億4千8百万円(前年同期は142億1千8百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期利益や減価償却費及び償却費による収入がありましたが、営業債務及びその他の債務の減少や棚卸資産の増加による支出等が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は41億3千9百万円(前年同期比28.2%減)となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8億3千9百万円(前年同期比42.6%減)となりました。これは主に配当金の支払による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月11日の「2021年3月期決算短信〔I F R S〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、第4四半期連結会計期間の想定為替レートは1米ドル110円としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,054	20,449
営業債権及びその他の債権	64,622	61,719
棚卸資産	25,772	37,783
その他の流動資産	5,014	5,140
流動資産合計	129,463	125,092
非流動資産		
有形固定資産	54,484	54,002
無形資産	771	679
退職給付に係る資産	1,322	1,393
繰延税金資産	1,834	1,821
その他の非流動資産	1,305	1,057
非流動資産合計	59,715	58,952
資産合計	189,178	184,043
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	82,029	72,897
借入金	8,157	10,695
未払法人所得税等	2,176	1,675
引当金	1,476	256
その他の流動負債	3,617	2,420
流動負債合計	97,454	87,943
非流動負債		
借入金	2,170	687
退職給付に係る負債	2,031	1,728
繰延税金負債	244	546
その他の非流動負債	1,516	1,576
非流動負債合計	5,961	4,537
負債合計	103,415	92,480
資本		
資本金	1,754	1,754
利益剰余金	75,126	76,833
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	△849	654
親会社の所有者に帰属する持分合計	76,028	79,238
非支配持分	9,735	12,325
資本合計	85,763	91,563
負債及び資本合計	189,178	184,043

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	141,674	149,057
売上原価	125,222	131,555
売上総利益	16,452	17,501
販売費及び一般管理費	11,426	11,379
その他の収益	207	906
その他の費用	123	387
営業利益	5,111	6,641
金融収益	219	2,112
金融費用	765	79
税引前四半期利益	4,565	8,674
法人所得税費用	3,237	3,443
四半期利益	1,328	5,231
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	1	5
純損益に振替えられることのない項目合計	1	5
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	570	1,729
純損益に振替えられることのある項目合計	570	1,729
その他の包括利益(税引後)合計	571	1,733
四半期包括利益	1,899	6,964
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	455	2,774
非支配持分	873	2,457
四半期利益	1,328	5,231
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	820	4,277
非支配持分	1,079	2,687
四半期包括利益	1,899	6,964
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	30.72	187.20

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2020年4月1日残高	1,754	8	76,480	△3	10	
四半期利益			455		1	
その他の包括利益					1	
四半期包括利益	—	—	455	—	1	
配当金			△533			
子会社に対する所有持分 の変動額		△366				
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			1		△1	
利益剰余金から資本剰余 金への振替		357	△357			
所有者との取引等合計	—	△8	△889	—	△1	
2020年12月31日残高	1,754	—	76,046	△3	9	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2020年4月1日残高	△3,472	△3,463	74,777	9,580	84,357
四半期利益		—	455	873	1,328
その他の包括利益	363	364	364	206	571
四半期包括利益	363	364	820	1,079	1,899
配当金		—	△533	△574	△1,107
子会社に対する所有持分 の変動額	△19	△19	△384	384	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替		△1	—	—	—
利益剰余金から資本剰余 金への振替		—	—	—	—
所有者との取引等合計	△19	△20	△918	△189	△1,107
2020年12月31日残高	△3,128	△3,118	74,679	10,470	85,149

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
2021年4月1日残高	1,754	—	75,126	△3	10	
四半期利益			2,774			
その他の包括利益					3	
四半期包括利益	—	—	2,774	—	3	
配当金			△1,067			
所有者との取引等合計	—	—	△1,067	—	—	
2021年12月31日残高	1,754	—	76,833	△3	12	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する 持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計			
2021年4月1日残高	△859	△849	76,028	9,735	85,763
四半期利益		—	2,774	2,457	5,231
その他の包括利益	1,501	1,503	1,503	230	1,733
四半期包括利益	1,501	1,503	4,277	2,687	6,964
配当金		—	△1,067	△97	△1,164
所有者との取引等合計	—	—	△1,067	△97	△1,164
2021年12月31日残高	642	654	79,238	12,325	91,563

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,565	8,674
減価償却費及び償却費	6,242	6,259
金融収益及び金融費用(△は益)	△134	△1,307
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△16,673	5,437
棚卸資産の増減額(△は増加)	229	△10,695
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	23,074	△12,069
引当金の増減額(△は減少)	53	△1,234
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△94	△327
その他	△564	195
小計	16,698	△5,067
利息の受取額	222	188
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△66	△79
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,636	△3,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,218	△8,648
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	58	675
有形固定資産の取得による支出	△5,852	△4,985
有形固定資産の売却による収入	59	243
無形資産の取得による支出	△35	△70
投資有価証券の売却による収入	2	—
貸付けによる支出	—	△5
貸付金の回収による収入	—	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,767	△4,139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	840	2,200
リース負債の返済による支出	△327	△337
長期借入れによる収入	40	—
長期借入金の返済による支出	△617	△268
配当金の支出額	△533	△1,066
非支配持分への配当金の支出額	△864	△1,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,461	△839
現金及び現金同等物に係る換算差額	725	705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,715	△12,920
現金及び現金同等物の期首残高	22,843	32,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,557	19,200

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社の連結子会社であったアラバマ・カルマン・ユタカ・テクノロジーズ・リミテッド・ライアビリティ・カンパニーは、2021年4月1日付で当社の連結子会社であるカーディントン・ユタカ・テクノロジーズ・インコーポレーテッドを存続会社、アラバマ・カルマン・ユタカ・テクノロジーズ・リミテッド・ライアビリティ・カンパニーを消滅会社とした吸収合併を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における連結子会社数は14社となりました。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び当社の子会社においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	17,758	22,382	10,357	88,217	2,961	141,674	—	141,674
セグメント間の内部 売上収益	9,926	332	1,411	1,332	741	13,742	△13,742	—
計	27,684	22,714	11,769	89,549	3,701	155,417	△13,742	141,674
営業利益(△は損失)	△2,607	18	△571	8,425	△13	5,252	△141	5,111
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	219
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	765
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	4,565

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	18,383	22,101	15,200	90,727	2,645	149,057	—	149,057
セグメント間の内部 売上収益	9,703	94	1,547	1,279	124	12,747	△12,747	—
計	28,086	22,196	16,748	92,006	2,769	161,804	△12,747	149,057
営業利益(△は損失)	△863	△1,818	899	8,587	△55	6,751	△110	6,641
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	2,112
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	79
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	8,674

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3 営業利益(△は損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。